

御幣川区だより

PTA 愛の一声運動

明るいあいさつ、あふれる笑顔、
大きな声で私から

第 2 2 6 号

平成 2 8 年 3 月 1 日

発行 長野市篠ノ井御幣川区
世帯数 1014 世帯 (H27. 4. 5)

3月の主な行事予定

- | | |
|---------|----------------------------|
| 3月1日(火) | 「御幣川区 安全・安心を考える日」(火の用心巡回等) |
| 5日(土) | 第11回協議員会(18時30分 公民館) |
| 5日(土) | 第10回ふれあい会食(11時30分 公民館) |
| 12日(土) | 新旧環境美化推進員会(19時 公民館) |
| 18日(金) | 福寿会定期総会(10時30分 公民館) |
| 18日(金) | 自主消防隊ポンプ点検(18時30分 公民館) |
| 19日(土) | 区顧問会議(17時 公民館) |
| 20日(日) | 第2回中央集会所運営委員会(19時 中央集会所) |
| 27日(日) | 公民館会計監査 |
| 27日(日) | 御幣川区資源回収 |

第8回ふれあい会食

特殊サギに気を付けよう!! 『ギターポリス』来たる

福祉委員会実行委員長 田村ヒデ子

年が明けて初めての「ふれあい会食」が1月30日(土)に御幣川公民館で行われました。当日はかねてより大雪の予報でしたが、天の助けか朝方には雪も止み、良き一日となりました。ふれあい会員9名、実行委員・民生児童委員他12名でいつものように会話をしながら



らの楽しい賑やかな食事会となりました。食事の後は、篠ノ井駅前交番から「ギターポリス」こと、田沼巡查部長に来ていただき、特殊サギについて話を伺いました。田沼主任は振り込めサギの被害防止に向け、各地を訪問し歌を交えて注意をよびかけており、マスコミにも多く取り上げられています。まずギターを抱えた田沼巡查部長が現れ「上を向いて歩こう」を美声で歌ってくれ、それに続き皆で「上を向いて歩こ

う」や「振り向かないで」の曲に合わせ被害防止のかえ歌をギターに合わせ歌いました。その後、意見交換を行い、「サギらしい電話が来て困った」など皆さんの体験談やそんな時の受け答えなど質問にも応じてくださり皆真剣に話を聞いていました。そして今なお後を絶たない詐欺被害、「私は大丈夫」と思っている、くれぐれもサギに引っかからないようにと再度確認をしあいました。「特殊サギ」が社会問題となっているため、当日は、区長も出席し、篠ノ井有線放送と長野市民新聞からも取材がきていました。

平成 28 年度 PTA 会長あいさつ

PTA会長 塚田 早苗

この度、28年度御幣川区のPTA会長に選任されました13常会の塚田早苗です。2年前に千曲市より転居して参りまして、昨年娘の小学校入学と共に学校と地区のPTA活動に参加させて頂きました。地域や学校の環境には慣れてきましたがPTA活動への参加経験は浅く、地区PTA役員の活動内容など全く理解不足なまま会長という大役を担う事となり、前会長さんのようにしっかりやっていけるのかという不安と荷の重さを実感しております。これから会長として活動していくわけですが、抱負と致しまして地域の皆様との交流を大切に、子供達のより良い成長の場を作りあげていく為に、1年間精一杯努力をしてやり遂げたいと思っております。

不慣れであり至らない点もある為、ご迷惑をお掛けする事が多々あるかと思いますが役員一同力を合わせ、皆様のご協力のもと一生懸命活動していきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。新三役は以下のとおりです。

会長 塚田 早苗(13常会) 副会長 山岸 千佳(7常会) 会計 太田かなえ(12常会)

俊英高校野球部 桃井監督をお迎えして

篠ノ井中央地区「いきいきフォーラム」開催

2月6日(土)通明小学校の多目的ホール及び体育館において、住民自治協議会教育交流部会主催による第5回「いきいきフォーラム」が開催されました。今回は、俊英高校野球部 桃井監督をお迎えして、子供たちを含む120名の参加者のもと、第1部を講演会「私の人生」と第2部に少年野球教室が行われました。桃井監督は社会人野球チーム「電通信越」を経てプロ野球「ロッテオリオンズ」に入団、その後審判員とな



り、この度俊英高校野球部監督に就任されました。第1部の講演会では「私の人生」と題し、子供たちを前にこれまでの野球人生に賭けた情熱と今後の選手の育成について熱く語っていました。

また、その後行われた野球教室では会エース御幣川少年野球チームをはじめ中央地区の各チームも参加して、投げ方や走塁方法、バットスイングなどの基本動作を指導され、子供たちも目を輝かして真剣に学んでいました。

少年野球教室に参加して

窪田 壮(9常会)

桃井監督、2月6日の土曜日は野球のご指導ありがとうございました。桃井監督には、コントロールを良くする方法や、よりヒットを打ちやすいフォームや打ちやすいバットの振り方を教えてもらいました。しかも桃井監督は優しいことに今、冬は外で練習が出来ないということを考えて家でも出来る練習方法を教えてくれました。野球教室の前の講演では桃井監督の昔のエピソードと今やっている事を分かりやすく話をしていただいたのでとても面白く感動しました。

これからも桃井監督は俊英高校で多くの人たちに野球を教え続けてください。

2月13日(土)の午後より篠ノ井市民会館において、篠ノ井中央地区公民館主催による第37回文化グループ発表会が開催されました。篠ノ井中央地区の各公民館より13の文化グループ、218名が出演し、舞踊、大正琴、キッズ・チェアダンスなど各グループの個性豊かな発表が行われ、会場を沸かせていました。御幣川区からは、「ブルーシャトー」の9名の皆さんが出演し大正琴による五木ひろしの悲しい女心を唄った「よこはまたそがれ」と西郷輝彦の「星のフラメンコ」の2曲を演奏しました。2曲目の最後には、全員でカスタネットをたたきフラメンコを感じをいかになく発揮し、観客を魅了していました。出演者の皆さん、見事な演奏ありがとうございました。ご苦労様でした。最後の発表は、篠ノ井西中学校吹奏楽部の演奏があり、アンコールに応え大盛会の中、最後には会場全体で吹奏楽部の演奏で「信濃の国」を合唱して終了しました。楽しい午後のひと時をすごすことができました。



少年野球チーム 27年度卒団式を挙行

2月7日(日)、会公民館において2015年度「会エース御幣川チーム」の卒団式が開催されました。御幣川区では窪田 壮君、羽入田 日向君、金子 竜二君の3名が卒団となり、式



ではそれぞれ挨拶し、今までの思い出や監督、コーチやチームメイトそして父母への感謝の言葉を述べられ、感極まって涙声になる場面もありました。暑さ、寒さそして厳しい練習にも一生懸命耐え抜き卒団される皆さんにエールを贈るとともに見守っていただいた保護者の皆さまにも敬意を表したいと思います。卒団される皆さんにはこれからも益々ご活躍することを期待します。

(裏面に選手からの思い出を掲載しています)

お知らせ

- ①篠ノ井中 147号線(通明小グランド南～県道信州新線)の工事について
3月2日頃から25日(予定)まで道路後退及び側溝整備工事のため、車両通行止めとなります。歩行者、自転車は通行できます。近隣の皆さんには文書で周知します。
- ②東田沢通明小線の改良工事について
一昨年、現地調査を行い、1月中旬に用地測量及び折衝が行われ、28年度より工事を着工することになりました。工事完了は4年後を予定しています。
- ③篠ノ井中 506号線(9常会～11常会通路)の側溝整備工事(最終工事)
昨年末に側溝に蓋を掛ける第二次整備工事を行い、最終区間を28年度完了の予定でしたが、工事を前倒して3月中に行うことになりました。通行止め期間等詳細については別途回覧等で周知します。

★★卒団する選手から★★ (*お断り 紙面の都合で一部原稿を割愛させていただきました)

「6年間の思い出」

羽入田 日向

ぼくが、野球を始めたのは、3年生の終わりからです。始めたころは、ルールも知らないし、ボールの持ち方も知らなかったけど、練習をするうちにだんだんとルールなどがわかって野球が好きになりました。それから3年間ずっとやっていますが、一番思い出に残ったことが2つあります。一つ目は、長野市大会のことです。理由は、ぼく達が目指していたのは、長野市大会で優勝することでした。そのために春からずっと練習をして、ついに長野市大会の日がきました。でも、ぼくは大会の日の朝に朝ごはんを食べずに大会にいったため練習中に具合が悪くなってしまい、その日の試合には出られませんでした。その時ぼくは、とってもチームに迷惑をかけてしまいました。朝ごはんを食べることが大事だと思いました。二つ目は、コーチの地獄のノックです。コーチのノックは、打球も速いし球を捕るのが難しく、とにかくきつかったです。だから、ボールが捕れるとうれしかったです。次に、監督へ、野球を知らないぼくだったけど打ち方や投げ方や捕り方をわかりやすく教えてくれてありがとうございます。そして、父母が毎週弁当を作ってくれたり大会場などに送ってくれたり応援に来てくれてありがとう。最後に会エース・おんべ川少年野球チームに入って、監督・コーチに教えてもらったこと、大切な仲間と出会えたこと、応援してくれた家族やたくさんの人に感謝でいっぱいです。今は、野球の楽しかった思い出ばかりだったけど、中学にいても苦しいことのりこえて夢にむかってがんばりたいと思います。

監督・コーチ・保護者のみなさん、こんなぼくを3年間みすてずに見守ってくれてありがとうございました。

「別れの卒団式」

窪田 壮

ぼくは、4年生の時に野球を始めました。3年間やってきた中で、楽しい事や嬉しい事、そして苦しい事もたくさんありました。その中でも一番楽しかった事は合宿です。合宿では練習が終わった後に花火や〇×クイズをやりました。〇×クイズではぼくは全問を正解してものすごい景品をもらったり、花火ではみんなでワイワイと遊びました。一番楽しかった事は、オリンピックスタジアムでお父さんからヒットを打った事です。これは監督からバットの振り方を教えてもらった直後に打ったヒットです。ぼくは正直言って、こんなに教えてもらってから早く打てるようになるとは思っていませんでした。ヒットが打てた要因は監督の素晴らしい指導のおかげでした。バッティングをしてくれた監督にとっても感謝しています。一番辛かった事は、コーチの地獄のノックです。コーチはどんどん速いボールを打って来て、そのボールが体に当たり、そんな事もおかまいなしにコーチはどんどんボールを打ってきました。それでも僕は必死にボールに食らいついて行きました。その結果、食らいついていく事で生まれた体力と、コーチの厳しい口調に打ち勝つために出来た精神力が僕の体に刻み込まれたと思います。この時、コーチの熱血さがもの凄く伝わりました。でも、野球を初めて一番良かった事は素晴らしいチームメイトに出会えた事です。そして一番感謝したいのは僕を支えてくれたお父さんとお母さんです。お父さんは仕事で疲れている中、毎日、野球の送り迎えや応援をしてくれます。お母さんは毎回お弁当を作ってくれて応援してくれました。監督・コーチ・お母さんお父さん、それにチームメイトの皆さんありがとう。そして五年生以下の皆、がんばって下さい。

「少年野球の思い出」

金子 竜二

ぼくは4年生の最初のとき会エースおんべ川少年野球に入りました。最初はどうかやるのかまったくわかりませんでした。5、6年生の人や友だちが教えてくれてとてもうれしかったです。そして、監督やコーチ、お母さん方にとってもお世話になりました。監督には、バッティングや投げ方、守り方を一から教えてもらいましたがなかなか覚えられませんでした。監督はそれでも教えて少しずつ覚ええました。コーチには、投げ方を良く教わりました。ぼくは、すごく横投げでしたがキャッチボールのとき、いつも、一から正しい投げ方を教えてくれました。それもなかなか覚えられず、コーチも苦労していましたがなんとか上から投げられるようになりました。監督とコーチありがとうございました。試合や練習でお母さん方にもお世話になりました。ぼくが顔面や体にボールがあたると、すぐに冷やしてくれたり、転んだりするとバンソウコウをはってくれたのですぐに良くなりうれしかったです。ぼくはそのことを今でも感謝しています。その他、思い出にのこっているのはコーチのノックです。最初は少しノックがこわかったですが速いゴロをとったとき、「ナイスキャッチ！」と言ってくれた時はすごくうれしかったし、少し自信がそのたびにできました。コーチが本気になって教えてくれたのでうまくなろうとぼくは、がんばりました。ありがとうございました。ぼくは野球をやって本当によかったと思います。団結力、あきらめない気持ちなどを教えてくれた、監督、コーチ、そしていつもぼくに声をかけてくれたり、アドバイスをしてくれたチームのみんな、そして、いつもお世話になったお父さん方、お母さん方、本当にありがとうございました。